

# データで見る兵教生

～「兵庫教育大学トビタテ海外派遣プログラムガイドブック2017」から検証～

## 兵教大生と海外体験

### 未来を見据え 経験を深める機会に

兵庫教育大学では、海外の交流協定大学等との連携により、現地の学校視察や文化研修、現地の子どもたちや学生との交流など、さまざまな海外派遣プログラムを毎年実施している。参加学生の内訳を見ると、全体としては大学院生が学部生をやや上回っている。ただし、体験レポートからはどちらも、単なる異文化体験・交流の機会ではなく、教員としての未来を見据えて参加であることがうかがえる。

次期学習指導要領では、「外国語活動の充実」とともに「体験活動の充実」も示されている。教員として子どもたちを導くために、自身の経験を深める機会にしてみてもどうだろうか。

経験談を子どもたちに伝えたい

「学生の中に海外に行きたい」と参加したオーストラリア英語研修プログラムは、毎日が刺激的で充実していました。平日はINFORUMという学校に通い、担任の先生が丁寧に教えてくれるので楽しかったです。休日は自由な時間もあり、短期間でもオーストラリアを満喫できました! 将来、教員になったときに体験談を児童に話したいです。また、現地で買った北半球と南半球の入れ替わった世界地図を授業で使いたいと思います。



あしだりえ  
芦田莉恵さん

生活・健康系コース4年  
オーストラリア英語研修プログラムに参加

## HYOKYO'S DATA

欧州文化研修プログラム  
(フィンランド)



海外派遣プログラム  
派遣実績(平成28年度)

プログラム名	学部生	大学院生
第4回DHPプログラム(韓国(大邱))	9	
欧州文化研修プログラム(スイス)		7
オーストラリア英語研修プログラム	6	
欧州文化研修プログラム(フィンランド)	4	7
ベトナム現地体験研修プログラム	2	9
計	21	23



オーストラリア  
英語研修プログラム



ベトナム現地体験  
研修プログラム



おだとしあき  
小田俊明 准教授

生活・健康・情報系教育コース  
欧州文化研修プログラム(フィンランド)を引率

魅力的な内容に  
引かれ参加  
教育を考え直す機会に

何気なく兵教大のホームページを見ていたら募集記事が目にとまり、直感的に「行きたい」と感じました。現地の教員養成大学や小学校を訪問し交流するというもので、しかも旅費は大学の補助があり比較的安いのです。学校経営を学ぶ私にとって、異国の学校の経営トップの人たちとのセッションは、必要な知識・技能を身に付け、社会性を育てるという教育の基本や公教育の在り方などをあらためて考える良い機会になりました。

現地に行かないと  
分からないことが  
いっぱい!

世界各国で行われている本学の海外短期派遣プログラムでは、現地学校の授業を観察したり教職員に話を伺ったりと多様な体験が可能です。語学、サブカルチャー、国際理解など、きっかけはさまざま良いと思いますが、ぜひ学生のうちに留学経験を持つことをお勧めします。行かないと分からないことがたくさんあります。異文化を経験し、日本と比較することができれば、皆さんの日常にあふれる事象も違ったものに見えてくるかも。



たなか やすお  
田中康夫さん

専門職学位課程  
学校経営コース2年  
ベトナム現地体験研修プログラムに参加